

学校の教育目標（全日制）

平成31年度「高等学校における教育指導の重点」と本校の三綱領に則り、「確かな学力の育成」、「健全な心身の育成」を柱に人権尊重の精神を根底におき、校長を中心とした指導体制を強化し、学校と家庭・地域社会の連携のもとに、全職員一体となり、伝統を重んじ創造力と活力あふれる学校づくりを目指し、次に掲げる教育目標の達成に努める。

◇教育目標 次の10年へ 率先垂範・新たな挑戦 ～積極的な思考力・行動力を持つ人材の育成～

- 1 心豊かで、礼節を身に付け、志高く自主自律の精神で活力に溢れ、国際化が進む社会に貢献できる有意な人材を育成する。
- 2 進路実現に向けて自分の可能性に挑戦し、自己実現を図る人材を育成する。
- 3 ものづくり教育の充実や学校行事、部活動の活性化を図るとともに、将来において心身ともに健康で、社会人・職業人として自立し共生する人材を育成する。

◇具体的取組

平成31年度県立学校における教育指導の重点のもと「認め、ほめ、励まし、伸ばす」教育行動指標を根幹に、学育、心育、体育を基本とし、「敬愛・努力・感動」を合言葉に、各項目を本年度の具体的取組とする。

- 1 基礎・基本の充実・定着
 - ・自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決していく資質や能力、すなわち「生きる力」の育成に努める。
 - ・分かる授業、生徒が意欲的に取り組む授業のための指導方法・教材等の工夫・改善に努める。
 - ・朝読書をとおして、知性や感性を豊かにするとともに、集中力を高め、落ち着いて学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。
- 2 工業教育の充実
 - ・専門高校の特色を生かした資格取得を奨励し、計画的な指導の実施及び産業界に貢献できる人材の育成に努める。
 - ・ものづくり教育をとおして、困難な課題や問題に果敢に挑み、自らその解決に試行錯誤を繰り返して努力し、乗り越えていくことで、自立心や創造力を培うことができる人づくり教育に努める。
 - ・SPH（スーパープロフェッショナルハイスクール）の取組において、産学官との連携・協働による災害に強い人材循環型学校・まちづくりを推進できるエンジニアの育成を目指す。
- 3 基礎的生活習慣の確立
 - ・5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を推進し、落ち着いて学業に専念できる環境の整備に努める。
 - ・規範意識を向上させ、社会人として自立し、共生する人格の育成に努める。
 - ・2A運動の徹底に努める。 「当（A）たり前のことを、当（A）たり前に」
「安（A）全で、愛（A）校心を育む環境に」

4 キャリア教育の振興・推進

- ・キャリア教育を意識した進路指導の充実と進路保障に努める。
- ・進学・公務員及び企業への進路保障に必要な組織的な受験対策と、その支援に努める。
- ・勤労体験や奉仕活動をとおして、職業観や奉仕の精神の育成に努めるとともにコミュニケーション能力を身に付けた生徒の育成に努める。

5 部活動の活性化

- ・スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に努める。
- ・文化部及び体育部活動の活性化により、健全で充実した学校生活の支援に努める。
- ・文武両道を推進し、知（確かな学力）、徳（豊かな心）、体（健康な体）のバランスの取れた生きる力を育む。
- ・それぞれの個性・能力を持った生徒が目標達成のために団結し、心を一つにして挑戦するなかで、充実感・達成感を味わい、体力はもとより忍耐力・精神力を養う。

6 人権教育の推進

- ・人権尊重の精神のもと、全教育活動をとおして「心に届き」「心を揺り動かし」「心を豊かに」する心の教育に努める。
- ・教育の根幹に人権教育を据え、生徒にしっかり寄り添い、生徒一人一人を大切にしたい教育に努める。
- ・思いやりの心を育て、挨拶を交わし、明るく活気のある学校づくりに努める。

7 グローバル化に対応した教育の推進

- ・英語教育の充実をはじめ、国際理解教育や国際的な職業への関心を喚起する取り組みを推進し、国際的な産業競争力の向上や国際間のきずなの強化等のグローバルな舞台で積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図る。
- ・郷土に誇りを持ち、自然や文化・伝統を大切にすることを育み、グローバル社会に対応し、技術革新等の情報を収集できる能力の育成に努める。
- ・朝の英会話放送をとおして、英語の聴解力や読解力を高めるとともに、集中力を高め、落ち着いた学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。